

退任ごあいさつ



議長 佐藤 正夫

平成20年12月議会に於いて議長の大変厳しいものが有ると感じています。議員個々の資質を問う声の有るのも事実です。今後議会に於いては、先例や慣例にとらわれる事なく一層の改革を進め、議会活動を活性化することと同時に議員個々が精進を重ね、質の向上を図ることが求められていると考えています。足立市長が就任し、新幹線開業を控えての今後の4年間は、一時も立ち止まっては行かない状況にあります。前市長時代の業績や諸課題に新たな風を入れ、広域との連携も新しい段階に入る今、議会の果たす役割はますます重要になって参ります。市政の目的は、市民の生活と安全を守ることであります。それには地域の核となる農業、観光、商工業を進展させ収入を確保し、世界でも有数の豪雪地域住民の安全を確保して、素晴らしい自然の中に息づく地域の文化を守り育て「悠久のふるさと飯山」を創っていくことが行政、議会の双方に求められています。

この便りが皆さんに届く頃には、市会議員の選挙も終わっているかもしれません。今回、定数を一減の16人と致しましたが定数減をどんどん進めていくことが行政、議会の文化を守り育て「悠久のふるさと飯山」を創っていくことが行政、議会の双方に求められています。

めるより、より多くの声を市政に届け、しっかりと議会活動をする事が市民の負託に答える道であり、市民の信頼を得ることが出来る道ではないかと考えています。力不足の私がどの位の責務を果たせたか分かりませんが、多くの皆さんに支えられ無事に退任を迎えることが出来ますことに心より御礼を申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 渡邊 吉晴

平成20年12月議会より後期2年間を佐藤議長の下、副議長として議員各位のご支援ご協力をいただき、微力ですが任期を務めることができました。副議長は議長を補佐し、議長に事あるときはその代理を務め、一心

同体となって話し合いながら、石田市政の歩みを常に見守り、市民の安心・安全で住みよい地域づくりを一步前進あるのみで議員の皆様と共に進めてきました。平成26年の新幹線開通に伴い、いろいろな課題が山積しております。飯山市は今やらなければならぬ大きな課題は、新幹線飯山駅に向けて、50年100年先を見ながら、市民と共に力を合わせて回遊性のあるまちづくりを考え取り組んでいかなければと思うひとりであります。足立新市長は飯山市に生まれ育った人、地域のことは良くわかっていただけに、継続事業はもとより、北信広域をはじめ、信濃町及び妙高市等を含む広域問題にも取り組める人として期待しております。各地域の特長を生かし平等に日のあたる地域づくりを住民と共に考え進めることも重要です。市議として8年、この中で副議長の任期2年を支えていただいた多くの皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げますと共に心からお礼を申し上げます。副議長退任のあいさついたします。



9月定例会概要

平成22年9月定例会は、9月28日から10月18日までの21日間の会期で行われました。

今定例会では、平成21年度一般会計・各特別会計・事業会計歳入歳出決算議案13件、平成22年度一般会計補正予算(総額3億7140万円の増額)、特別会計・事業会計補正予算(4334万円の増額)の各予算案13件のほか、条例の改正案など6件の計32議案が市長から提出されました。5日から7日にかけての一般質問には15名の議員が登壇し、8日、12日には総務・産業建設・社会文教委員

会で付託された議案について審議しました。最終日23日には、人権擁護委員候補者の推薦については適任と認め、議員提案の委員会条例の一部改正案を含め、すべて原案のとおり認定・可決されました。陳情2件についてはそれぞれ趣旨採択・採択としました。議員提案の意見書については全員一致で可決しました。

委員会審査
10月8日・12日には各委員会において審査が行われました。

総務委員会
総務委員会に付託されました議案は、平成21年度飯山市一般会計歳入歳出決算の関係部分、特別会計決算のあわせて2件、一般会計補正予算の関係部分、特別会計の補正予算案のあわせて3件、条例案1件、事件案2件の計8議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり認定又は可決すべきものと決しました。陳情10号「住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳

情」については、審査の結果、継続審査にすべきものと決しました。委員会審査の中で、県外に所有する財産が必要であるかどうか、また、このような財産は適正に処理すべきではないかとの意見がありましたことを申し添えます。

産業建設委員会
産業建設委員会に付託されました議案は、平成21年度飯山市一般会計歳入歳出決算の関係部分、特別会計決算案6件、一般会計補正予算の関係部分、特別会計の補正予算案6件、事件案2件の合計14議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり認定又は可決すべきものと決しました。

社会文教委員会
社会文教委員会に付託されました議案は、平成21年度飯山市一般会計歳入歳出決算の関係部分、特別会計決算案のあわせて7件、一般会計補正予算案のあわせて6件、条例案1件

の計14議案でした。審査結果は、平成21年度飯山市一般会計歳入歳出決算の関係部分につきましては賛成多数で、その他の議案につきましては、それぞれ原案のとおり全員一致で認定または可決すべきものと決しました。審査の中では、中山間地域に住んでいる高齢者や、寝たきりの人が病院へ行く場合などの移動手段は大変不便と言う声がある。社協にストレッチャー付きの車があるというが、十分に周知されておらず不便を感じている人が多い。これからますます高齢化が進む状況にあるので、市として福祉バスの運用など配慮するべきとの意見が出されました。陳情第11号「北信総合病院の早期再構築を求める陳情」については、全員一致で採択すべきものと決しました。

一般質問
10月5日から7日にかけては、15名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※次ページからの一般質問の内容については要約して掲載いたします。